

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所（新庁舎） 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 9月15日（日）

秋の交通安全週間にあたって、子どもの安全について関心を高め、通学路や地域の危険箇所等の様子を家族一緒に確かめるなどをして、子どもの安全を守りましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「素敵なお母さん」

埴生地区少年補導委員

あるスーパーで最近では珍しい光景に出会いました。
2、3歳の女の子が、床に腰を下ろし、辺りに響きわたる大声で泣き叫んでいるのです。周りにいた人も、何事かと足を止め、その子へ視線を向けています。

泣いている理由は、欲しいお菓子を買ってもらえないからでしょうか。その子に寄り添い肩を抱いて若い母親も一緒に座っています。周りの人の視線には「みっともない、買ってやればいいのに」と言うような冷やかさが感じられました。私も、どうなる事かとじっと様子を見ていました。

「○○ちゃん、いくら泣いてもいいよ、ママは困らないからね。家を出るとき一っだけ買うと約束したんだからね。いくら泣いても買わないよ。」そう言いながら笑顔で我が子を見つめているのです。

しばらくすると、激しく泣いていた女の子が、すくっと立ち上がり、「ママごめんね」と言いながら母親に抱きつきました。私はこの若い母親の態度に感銘を受けました。子育ての方針が確かなことがよく理解できたからです。

まず「約束したことは守ること」と厳しく教えていることです。そのために、我が子が大声で泣き叫んでも、ガンとして聞き入れない態度が見られました。次に「しつけが一貫している」ことです。家の中では厳しく育てていても、外で人が見ているところでは周囲の目が気になり、どうしても甘くなりがちなのに、この若い母親にはそんな様子はありませんでした。

三つめは、「子供自身に気づかせよう」としていることです。「二人で約束したことを思い出しなさい」と、時間をかけて子供が気づくのを待っています。最後に「笑顔を絶やさなさい」とことです。理屈抜きで「温かい親の愛情に包まれている」と感じた一時でした。

この素敵なお母さんから、偶然に多くを学んだ時でした。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 小遣いを与える時にはルールもいっしょ —

～育成センターの活動より～

夏場の活動の様子や今後の予定について報告いたします。

1. 7月3日～9日：青少年に有害な社会環境を排除するための「環境チェック活動」を行いました。
2. 7月26日から8月6日（16：30～18：30）：小・中学校が夏休みに入り、学区ごと補導委員とPTA（先生・PTA役員2名）による合同補導を実施しました。
3. 「戸倉上山田温泉夏まつり」「千曲川納涼煙火大会」の当日、補導委員と育成センター職員による夏まつり補導活動を実施しました。屋代夏祭り（一重山不動尊縁日）、千曲夏祭り、屋代ヨイヨイでは、地区補導委員が補導活動を実施しました。各お祭り会場とも子ども達による問題行動は見られませんでした。
4. 9月の補導日程では、9月4日から午後4時～6時の間で定例の地区巡回補導を実施します。



補導日誌から



「温泉夏祭り」から

7月13日（土） 8:00pm～9:00

夏祭りのメイン中央通りの山手側と堤防側に2班に分かれて出発。踊り流しや屋台等で賑わう中央通りを巡回しました。整然と自転車が止められていましたが、昨年より数が減った印象を受けました。また、去年は、観光ホテル跡地に人影がありましたが、今年は見かけませんでした。それぞれの立場で祭りを楽しんでおり、トラブルも見受けられず、問題はありませんでした。

みんなで楽しむ子どもたち

7月17日（水） 3:00pm～5:00

小船山公園では大勢の子供たちがいました。女子小学生10人位のグループが元気に走り回っていた。4人の女子小学生は東屋のテーブルで話していました。おやつと水筒を持参していて、一人は書き取りの宿題をしていましたが、他の3人は終わるのを待ちながら話に夢中。男子小学生4人はボール遊びをしていました。トイレは異常ありませんでしたが、お菓子の小袋のゴミが落ちていました。

「一重山不動尊縁日」から

7月28日（日） 7:00pm～9:00

子ども達の夏休みも始まっており、歩行者天国という事で大変な人出でにぎわっておりました。小さな子供のゆかた姿が印象的でした。楽しそうな親子の姿を見るにつけ、佐久市で開催された青少年補導活動推進大会で「ゲームが生活の中で最優先事項になっている。」というお話を思い出しました。その原因は、自分の居場所をゲーム空間の中に見つけているためということでした。「ゲームについては適切な対応をしないと健康を害したり、人生を台なしにする人が出て、当人だけでなく、家族全体を苦しめる事もある。」ということです。その対策として、『ゲーム以外の楽しみを子供と共有していくことが大事だ。』と学びました。現実生活には、ワクワクするものがたくさんあることを小さいうちから教えてほしいし、大切な事は、本人と話し合える親子の関係と継続する事だということも学ぶことができました。

まさに、この屋代の夏祭りもその対策の一環だと思いました。この祭りは、私の子供の頃から続いており、今後も伝統行事として長く続いてほしいと願っています。

PTAとの合同補導（埴生小学校区）**7月26日（木） 4:30pm～6:30**

鋳物師屋河川沿いに経路を選び、危険個所の確認を行いました。落ちたことのある箇所、子供が入っていきそうな箇所、斜面で滑り落ちてしまいそうな箇所、遊んで落ちそうな箇所、水量が多く流れの速い箇所を確認していきました。危険箇所の周知のため、先生方は写真を何枚も撮っていました。

PTAとの合同補導（屋代小学校区）**7月29日（月） 4:30pm～6:30**

屋代第一地下道では、プール帰りの小学生3人に会いました。自転車に乗って降りてくる子がいたので危ないので降りて通行するように話しました。どこの公園でも夏休みになっても外で遊ぶ子供は見ないので、先生及びPTAの方もどこで何をしているのかと話していました。

PTAとの合同補導（上山田小学校区）**7月30日（火） 5:00pm～6:30**

出発前に、『女沢公園で変態行為があったので、点検注意していただきたい』との指示があり、特に、その地点と周囲を巡回したが、異常はありませんでした。ほかの場所は暑さのせいか子供の姿がありませんでした。先生もPTAの方も熱心に巡回されて、本当にありがたく思いました。

PTAとの合同補導（更埴西中学校区）**7月31日（火） 4:30pm～6:30**

八幡上町のトンネルに以前不審者がいたという情報の為、巡回の都度、3つのトンネル及びその周辺を巡回していますが、人の通りもなく、異常はありませんでした。暑さの為か？又は、子供の遊びの変化の為なのか？夏休みにもかかわらず、元気に公園で遊んでいる子供の姿が見られず寂しい感じがしました。

PTAとの合同補導（東小学校区）**8月 1日（木） 4:30pm～6:30**

科野の里ふれあい公園では、到着時、駐車場で帰り際の一人のお母さんから、噴水の水が変な臭いがするとの話がありました。噴水の周りにいたお母さん方に話を聞くと、特に臭いは感じなかったとのことでした。噴水が上がるのを待って確認しましたが、臭いはなく、子どもたちは、元気に水遊びをしていました。

PTAとの合同補導（戸倉上山田中学校区）**8月 2日（金） 4:30pm～6:30**

猛暑のせいか、神社・公園に行ったが、誰もいない状態でした。三本木公園、内川公園は、いつも数人の中学生がバスケットボールなどしていますが、その姿もみられませんでした。創造館の学習室に中学生2人、高校生数人が勉強をしておりました。中学生2人に「帰り道、自転車での交通安全等に気をつけるよう」声がけをしました。

編集室の窓**「親子のふれあい」こそ・・・**

7. 8月は、夏休みということもあり、親子のふれあいに関する話題が目にとまりました。

コラムでは、若いお母さんの我が子のしつけについて「約束を守ること」「しつけが一貫していること」「子供自身に気づかせようとしていること」最後に「笑顔を絶やさない」温かい親の愛情について書かれていました。コラムを読みながら、私自身も学ばせていただきました。また、一重山祭りの巡回の中で、「大切なことは『本人と話し合える親子関係と継続』であり、夏祭りもその対策の一環であり、長く続いてほしい。」という願いも書いてありました。

この夏休み、皆様のご家庭では、どんな親子のふれあいやできごとがあったでしょうね？

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

4年 大室 けい

ぼくのしょうらいのゆめは、きし（棋士）になることです。ぼくは、3年生の時にしろうぎをやって、すごくおもしろくて、自分も藤井8段みたいなプロのきしになりたいと思いました。ぼくは、プロになって藤井8段の連勝記録をぬきたいです。

4年 金子 ちひら

わたしのゆめは画家になることです。きっかけは、更埴体育館の長い廊下のかべにある、越ちひろさんの絵を見て、「私も画家になりたいなあ。」と思いました。たくさんの色を使ったり、にじませたりして、みんなが笑顔になる楽しい絵を描きたいです。



5年 西川 彩香

私の夢は、トリマーになることです。なぜかというと、犬やネコが好きだからです。お母さんがトリマーをやっていたからあこがれがあります。毛をカットしに来た犬やねこ、いろいろな動物たちと仲よくなりたいです。

5年 臼井 彩紗

私の夢は、助産師になることです。助産師は、赤ちゃんが生まれる時の手助けをする仕事です。小さいころにドラマを見ていい仕事だなと思い、赤ちゃんがかわいいと思ったから、助産師になろうと思いました。

そのために、今やっている勉強をがんばりたいです。

6年 坂井 春菜

私の将来の夢は、バレーボール選手になることです。小学校4年生からバレーボールをやっていて、今は、キャプテンをしています。強いチームと戦っていると、くじけそうになりますが、最後まであきらめずにみんなに声をかけてがんばっています。

中学校でもバレーボール部に入って、がんばりたいです。

6年 小板橋 志仁

ぼくの将来の夢は、声優になることです。声優は、アニメや映画に声をふきこむ仕事です。声優になりたいと思ったきっかけは、名探偵コナンのキャラクターの声優である高山みなみさんと山口勝平さんにあこがれたからです。声優になれるように、ぼくはいろいろなことをがんばりたいです。

